

言語聴覚学科

S Science & Art
科学的知識と技能を学び続ける力

言語聴覚障がいのある人を理解するために必要な高い専門性を持ち、言語聴覚士としての高度な技能を活用できる。

T Teamwork & Leadership
チームワークとリーダーシップを発揮する力

保健医療福祉分野の多くの職種とコミュニケーションをとりながら、横断的・融合的にチームアプローチを実践できる。

E Empowerment
対象者を支援する力

対象者との対話を通して文化的背景を理解し、QOLの向上を図るために専門的知識と技能を活用していく。対象者が異なる意見を持っていたとしても寛容的な視点と高い倫理観を持って支援していくことができる。

P Problem-solving
問題を解決する力

専門的知識・技能を積極的に用いて情報収集を行い、対象者が抱える問題点を明確にして科学的な解決に努めることができる。

S Self-actualization
自己実現を達成する力

生涯にわたって高い専門性を維持するための努力を怠らず、かつ一般教養の知識を培い、人間性を磨き上げていくことができる。

4年次

科学的・論理的な思考を活用できる

- 卒業研究 ●●●
- 研究プロジェクト演習Ⅵ ●

3年次

科学的思考力を身に付ける

- 研究方法論 ●●●
- 研究方法論演習 ●●●
- 保健統計学 ●●●
- 研究プロジェクト演習Ⅴ ●
- 研究プロジェクト演習Ⅳ ●

言語聴覚療法の総合的な専門性を身につける

- 失語症Ⅱ ●●
- 高次脳機能障害学 ●●●●
- 言語発達障害学Ⅲ ●●●
- 音声障害学 ●●●
- 言語聴覚療法管理学 ●●
- 失語症演習Ⅱ ●●
- 高次脳機能障害学演習 ●●●
- 言語発達障害学演習 ●●●●
- 成人発声発語障害学演習 ●●●●●
- 小児聴覚障害学演習 ●●●●
- 摂食嚥下障害学演習 ●●●●
- 聴覚補償機器学演習 ●●●●

学修した知識を活用できる

- 言語聴覚障害学応用特講 ●●
- 言語聴覚障害学総合演習 ●●

対象者へ適切な言語聴覚療法を提供できる

- 臨床実習Ⅲ ●●●●●

2年次

情報処理Ⅲ ●●●

- 研究プロジェクト演習Ⅱ ●
- 研究プロジェクト演習Ⅲ ●

医学的基盤と言語聴覚療法の専門性を身につける

- 内科学Ⅰ ●●●
- 内科学Ⅱ ●●●
- 小児科学 ●●●
- 精神医学 ●●●●
- 神経科学 ●●●●●
- 臨床神経学 ●●●●●
- リハビリテーション医学 ●●●●●
- 公衆衛生学 ●●●●
- 臨床歯科医学 ●●●
- 口腔外科学・形成外科学 ●●●
- 失語症Ⅰ ●●
- 言語発達障害学Ⅰ ●●●●
- 言語発達障害学Ⅱ ●●●●
- 小児発声発語障害学 ●●●●●
- 吃音・流暢性障害学 ●●●●
- 成人発声発語障害学 ●●●●
- 摂食嚥下障害学 ●●●●
- 成人聴覚障害学 ●●●
- 小児聴覚障害学 ●●●●●

言語聴覚障害学基礎特講 ●●●

対象者へ適切な言語聴覚療法評価ができる

- 臨床実習Ⅱ ●●●●●

チーム医療を学ぶ

- 社会連携実践演習Ⅰ * ●●●●●
- 社会連携実践演習Ⅱ * ●●●●●
- 連携総合ゼミ * ●●●●●
- 地域連携学 ●●●●●

国際性を身につける

- 国際交流演習Ⅰ * ●●●●●
- 国際交流演習Ⅱ * ●●●●●

1年次

科学的思考のための基礎を磨く

- 情報処理Ⅰ ●●●
- 情報処理Ⅱ ●●●●
- 情報科学 ●●●
- 研究プロジェクト演習Ⅰ ●
- 科学論 ●●●
- データサイエンス概論 ●●●●
- アカデミック・ライティング ●●●●

言語聴覚療法の基礎を学ぶ

- 臨床心理学 ●●●
- 学習・認知心理学 ●●●●
- 発達心理学 ●●●●
- 心理測定法 ●●●●
- 言語学 ●●●●
- 音声学 ●●●●
- 音響学 ●●●●
- 聴覚心理学 ●●●●
- 言語発達学 ●●●●
- 臨床心理学 ●●●●
- 学習・認知心理学 ●●●●
- 発達心理学 ●●●●
- 心理測定法 ●●●●
- 言語学 ●●●●
- 音声学 ●●●●
- 音響学 ●●●●
- 聴覚心理学 ●●●●
- 言語発達学 ●●●●
- 解剖学 ●●●●
- 解剖学実習 ●●●●
- 生理学 ●●●●
- 生理学実習 ●●●●
- 耳鼻咽喉科学 ●●●●
- 呼吸系構造・機能・病態 ●●●●
- 聴覚系構造・機能・病態 ●●●●
- 言語聴覚障害概論 ●●●●

対象者とのコミュニケーション能力を高める

- 臨床コミュニケーション実習 ●●●●
- 基礎ゼミ ●●●●
- 日本語表現Ⅰ ●●●●●
- コミュニケーション学入門 ●●●●
- 対人コミュニケーション論 ●●●●●
- 日本語表現Ⅱ ●●●●●

対象者と適切なコミュニケーションをとれる

- 臨床実習Ⅰ ●●●●●
- 医療コミュニケーション論 ●●●●●
- カウンセリング技法 ●●●●●

チームアプローチ入門 ●●●●●

- 地域言語聴覚療法 ●●●●●
- 言語聴覚士とチーム医療 ●●●●●

英語Ⅰ ●●●

- 英語Ⅱ ●●●●
- 韓国語Ⅰ * ●●●
- 中国語Ⅰ * ●●●
- スペイン語Ⅰ * ●●●
- ドイツ語Ⅰ * ●●●

専門職に必要な深い教養を身に付ける

- ボランティアの世界 ●●●●
- 心理学の世界 ●●●●
- 人間を知る ●●●●
- 命の倫理 ●●●●
- QOLの世界 ●●●●
- こどもの世界 ●●●●
- アスリートの世界 ●●●●
- 臨床医の世界 ●●●●
- 加齢と身体 ●●●●
- 食を楽しむ ●●●●
- 眼の神秘 ●●●●
- 義肢装具の世界 ●●●●
- 新潟学 ●●●●
- 国際保健の世界 ●●●●
- 国民の生活と健康を支える仕組み ●●●●
- 現代社会と経済 ●●●●
- 法学Ⅰ ●●●●
- 法学Ⅱ ●●●●
- 臨床の哲学 ●●●●
- 臨床技術の世界 ●●●●
- 留学の魅力 ●●●●
- シティズンシップ教育入門 ●●●●
- 放射線の基礎と人体への影響 ●●●●
- 新潟水保病の理解 ●●●●
- 一次救命処置法 ●●●●
- 東洋医学的養生 ●●●●
- 自然人類学概論 ●●●●
- アスリートサポートの世界 ●●●●
- 比較認知科学の世界 ●●●●
- スポーツ・健康 ●●●●
- 哲学 ●●●●
- 倫理学 ●●●●
- ジェンダー論 ●●●●

●●●●●：関連するSTEPSの能力
 ■ 基礎教養科目群
 ■ 保健医療福祉教養科目群
 ■ 保健医療福祉連携科目群
 ■ 専門基礎科目群
 ■ 専門専攻科目群
 注) 赤字は必修科目
 *：複数学年で履修可能な科目